

環境

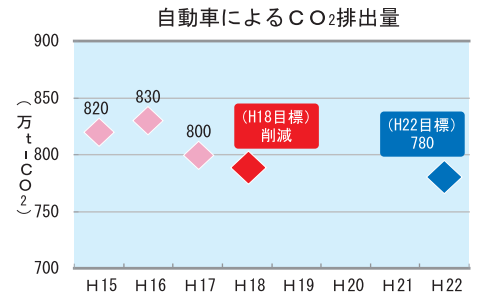
地球温暖化 防止対策

11 自動車によるCO₂排出量／H18 目標：削減



達成度 報告

- 渋滞対策によるCO₂削減を推進し、排出量(計算値)が約3%削減され、目標を達成しました。
- CO₂排出量に関しては、「道路行政の達成度報告書／業績計画書(国土交通省)」に記載されている数値を基に算出していますが、上記に掲載される各年度の排出量が1年遅いため(H17データが最新)、1年遅れの評価としています。



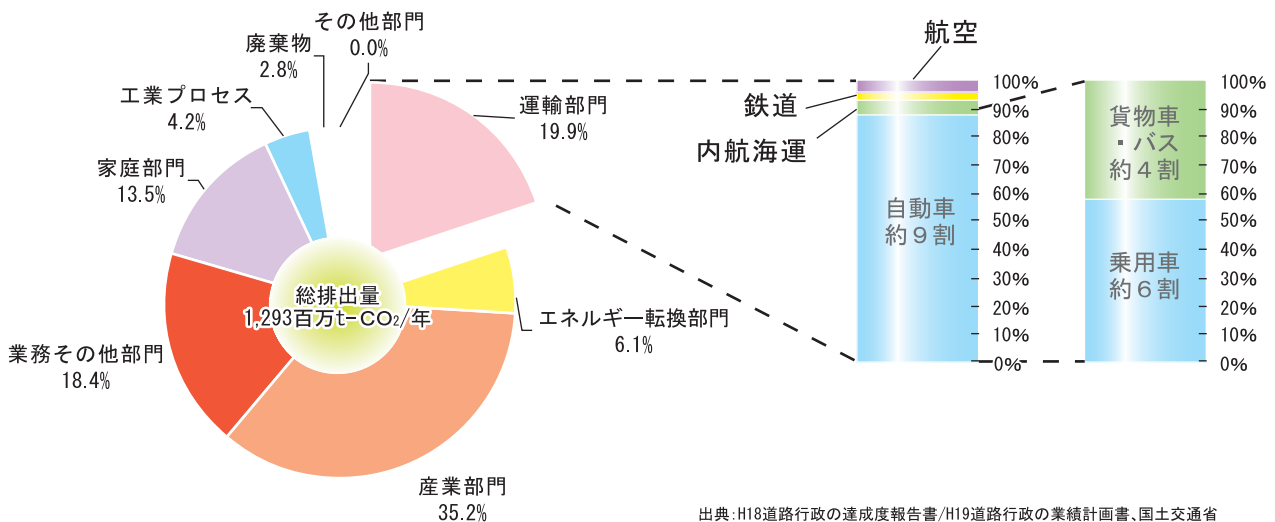
業績 計画

- 引き続きCO₂排出量を削減し、平成22年度目標の達成を目指します。

現状と 課題

- 京都議定書に基づき、我が国では温室ガスの排出量を2008年から2012年までの期間に6%削減(1990年を基準)することが求められています。
- 我が国のCO₂排出量に占める運輸部門のCO₂排出量は全体の20%で、その約9割が自動車から排出されています。
- 千葉県においても運輸部門の二酸化炭素排出量のうち約9割が自動車から排出されています。また、2002年時点では1990年比で48.2%の増加となっています。

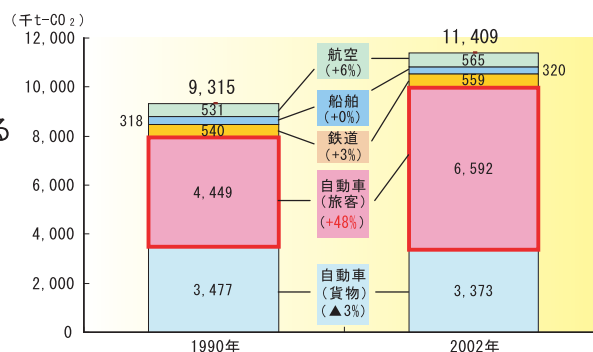
部門別CO₂排出量内訳(2005年度)



出典: H18道路行政の達成度報告書/H19道路行政の業績計画書、国土交通省

千葉県の運輸部門における二酸化炭素排出量の伸び

出典: 千葉県環境生活部環境政策課



平成18年度
の評価

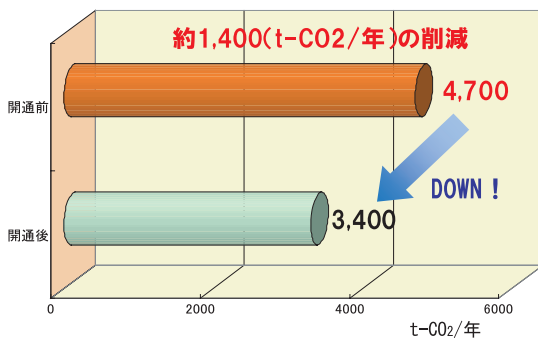
CO₂排出量目標達成に向け、渋滞対策などを実施中

- 渋滞対策などの効果により、排出量(計算値)は約3%削減されました。
- 国土交通省では、交通渋滞を緩和・解消するとともに車の利用方法の改善などを体系的かつ集中的に実施する「CO₂削減アクションプログラム」概要を平成17年12月に策定しました。
- 個別事業では、国道357号千鳥町立体(山側)の開通により、CO₂排出量削減効果が見込まれます。

代表的な事業 CO₂排出量削減効果は、千葉マリスタジアム約27個分の植林に相当
千鳥町立体(山側)

H19. 3. 28
開通

- 千鳥町立体(山側)が平成19年3月に開通しました。これにより、交通渋滞が緩和されるとともに、湾岸道路の交通機能の向上と沿道環境の改善が見込まれます。
- 今回の整備により千鳥町交差点から高浜交差点への走行速度が向上し、年間でCO₂が約1,300(t-CO₂/年)削減されることが見込まれます。CO₂排出量削減効果は、千葉マリスタジアム約27個分の植林に相当します。



CO₂削減量は
千葉マリスタジアム
約27個分に相当
(森林面積約122haの
二酸化炭素吸収量に相当)



※森林によるCO₂吸収量は、10.6t-CO₂/ha・年として換算。
(出典:「土地利用、土地利用変化及び林業に関するグット・プラクティス・ガイダンス(優良手法指針)」より)
※千葉マリスタジアムの面積は、約4.4haとして計算。



【千鳥町立体(山側)】

出典:首都国道事務所 記者発表(H19. 8. 2)

平成19年度 渋滞緩和、高速道路利用の促進等により の計画 排出量削減を目指す

- 「CO₂削減アクションプログラム」の削減メニュー(例:主要渋滞ポイント及びボトルネック踏切対策、高速道路利用の促進、ITS(高度道路交通システム)の活用等による道路交通情報の充実など)を着実に実施することにより、CO₂排出量の削減をはかり、少なくとも道路交通からのCO₂排出量が増加しないようにすることを目指します。
- 館山道(君津IC~富津中央IC)の開通により、高速道路の利用を促進し、CO₂排出量の削減を目指します。

代表的な事業 高速道路利用を促進し、CO₂排出量の削減を目指す
館山道(君津IC~富津中央IC)

H19. 7. 4
開通

- 君津IC~富津中央IC間は館山自動車道(既供用区間)と富津館山道路を接続し、道路交通の利便性の向上、国道127号の渋滞緩和、南房総地域における地域産業の活性化等に貢献します。
- CO₂を9,300(t-CO₂/年)削減する効果があります。これは約880ha(東京ドーム約190個分)の森林の効果に相当します。

約9,300(t-CO₂/年)削減



東京ドーム X 190個



森林面積:約880haは東京ドーム約190個分の面積に相当



【君津IC~富津中央IC】

※森林によるCO₂吸収量は、10.6t-CO₂/ha・年として計算
(出典:「土地利用、土地利用変化及び林業に関するグット・プラクティス・ガイダンス(優良手法指針)」より)
※東京ドームの面積は、約4.68haとして計算

出典: NEXCO東日本ホームページ